

令和6年度 第4号

令和6年7月1日(月)発行

学校教育目標:「ひと」とともに生きる生徒の育成



植竹中だより

学校 Web ページ



目指す生徒像: 気づき力を高め「元気に登校」「笑顔で下校」 さいたま市立植竹中学校

〒331-0804 さいたま市北区土呂町352 TEL 048(663)2115 FAX 048(665)6377

体育祭

校長 上 続 昌 司

1学期も残り3週間となりました。満開の桜がとても印象的だった始業式、入学式から始まり、ここまで予定していた行事等も順調に取り組むことができています。目の前の課題に対して懸命に取り組んできた成果は、確実に身につけてきていることと思います。節目の時期として「何ができて、何ができなかったのか」を振り返る時間をつくり、2学期に活かして行ってほしいと思います。7月20日から始まる夏休みについても、有意義な時間を過ごしましょう。

さて、6月22日に開催した体育祭について、振り返ってみたいと思います。当日は天候にも恵まれ、無事に開催できたことが本当に奇跡のように思うほどでした。前日は午後から雨、予備日だった日曜日朝から雨でした。結果的に開催した土曜日は曇りで始まり、途中晴れ間もあり暑くはなりましたが、体育祭を行うには丁度良い環境だった事は本当に奇跡でした。大きなケガや熱中症等の体調不良者がほとんど無く終わることができた事にも安堵しています。これは、体育祭に生徒全員が集中できていたことと、PTA会長様のご配慮により、早朝より多くの保護者の方々がテントを準備していただけたことも、熱中症対策に大きな効果をもたらしてくれました。また、1週間前にも、後援会長様のお声掛けにより、多くの保護者の方や卒業生が校庭の草刈り等の作業をしていただきました。この場をお借りし、改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

全員が集中していたと書きましたが、これは当日の様子だけを指している言葉ではなく、体育の授業や全体練習、予行等の様子も指しています。開会式前の入場行進から閉会式まで、細部にわたって計画を立て準備を重ねてきました。入場行進にフォーカスすると、腕の振り、足を上げる位置をリズムに合わせて揃えていくのですが、これが大変です。音を聴きながら動きを合わせる作業は大変難しく、それ故に揃った時の美しさは見る者の心を動かしてくれます。競技種目が始まると、仲間を応援する生徒の声が響き渡ります。1位でゴールする人の喜ぶ姿、惜しくも負けてしまった人の悔しがる姿、どちらも一生懸命挑んだからこそその勇姿です。部活対抗リレーでは、ユニフォーム姿で観客を楽しませるパフォーマンスを存分に披露してくれました。学年種目では、各学年らしい競技が展開され、正に熱戦という言葉がピッタリでした。互いを認め、讃え合う姿に学年種目の素晴らしさがあると思います。そして、最後の演技「植中ソーラン」は感動の一言です。全校生徒が心を一つに一生懸命に踊り、その姿を見守る観客の皆さんも心が一つになり、見事に体育祭のフィナーレを飾ってくれました。閉会式の校歌についても、この時間にしか歌えない、体育祭だからこそその想いが伝わる校歌でした。

他にも、この場では書ききれない体育祭ならではの素晴らしい取り組みがあったことと思います。この体育祭を機に、仲間やクラス、学年、学校が強い絆で結ばれ成長していくことを心から願っています。

最後になりますが、保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動につきまして、ご理解、ご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。2学期も何卒よろしく願います。